

岩手県感染症週報

平成16年第26週（6月21日～6月27日）

岩手県結核 感染症情報センター

第26週の概要

1類感染症

- 患者発生は報告はありませんでした。

2類感染症

- コレラの報告が1例ありました。海外での感染が疑われています。患者は長距離バス車内で発症しましたが、同乗者等への感染はありませんでした。

3類感染症

- 腸管出血性大腸菌感染症の報告が水沢、宮古地区からそれぞれ1例ずつありました。いずれも感染経路は不明ですが、二次感染等の感染の拡大はありません。

4類感染症

- レジオネラ症の報告が盛岡地区から1例ありました。

5類感染症（全数把握対象疾患）

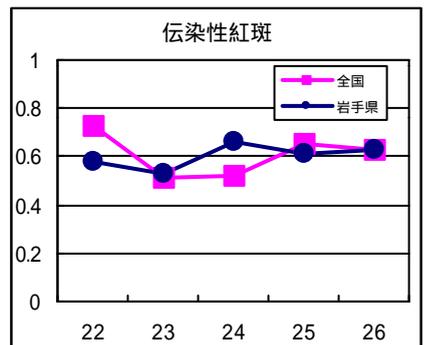
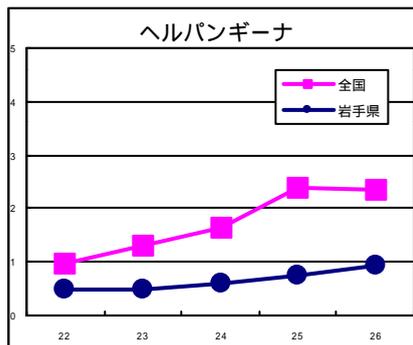
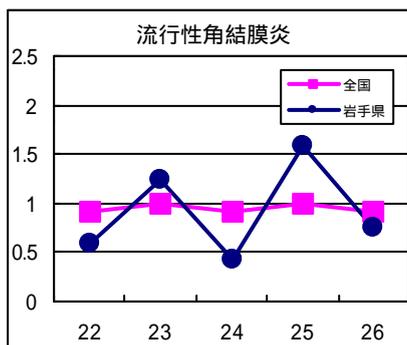
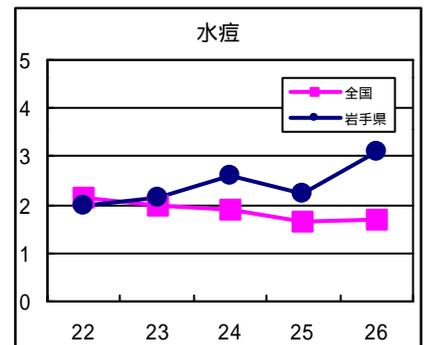
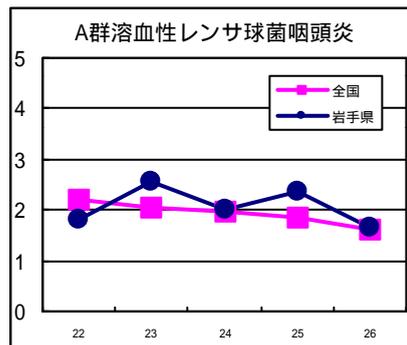
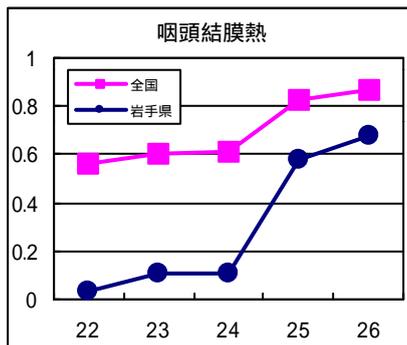
- 患者発生は報告はありませんでした。

5類感染症（定点把握対象疾患）

- 咽頭結膜熱は盛岡、花巻地区で増加し、警報値（定点当たり患者数1.0人）を超えています。感染の予防には目や手をよく洗い、タオルを共用しないことが大切です。
- 水痘は花巻地区で患者数が増加しており、定点当たり患者数は警報値（同7.0人）を超え11.0人となりました。
- ヘルパンギーナは大船渡、二戸地区で患者数が多くなっています。二戸地区ではこの週に大幅に患者数が増加し、警報値（定点当たり患者数6.0人）を超えています。

最近の注目疾患（定点あたり患者数の過去5週の動き）

（疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意）



定点把握対象疾患（過去5週の動き）

（定点あたり患者数）

疾病名	地域	週					流行傾向	
		22	23	24	25	26		
インフルエンザ	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.04	0.02	0.01	0.01	0		
咽頭結膜熱	岩手県	0.03	0.11	0.11	0.58	0.68	↗	
	全国	0.56	0.6	0.61	0.83	0.87		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	岩手県	1.82	2.55	2	2.37	1.66	→	
	全国	2.19	2.03	1.98	1.85	1.62		
感染性胃腸炎	岩手県	2.47	2.79	1.76	1.71	2.05	→	
	全国	5.44	4.58	4.51	4.23	3.68		
水痘	岩手県	1.97	2.13	2.61	2.24	3.11	↗	
	全国	2.15	1.99	1.91	1.67	1.7		
手足口病	岩手県	0.05	0	0.13	0.03	0.11	→	
	全国	0.28	0.29	0.4	0.54	0.6		
伝染性紅斑	岩手県	0.58	0.53	0.66	0.61	0.63	→	
	全国	0.73	0.51	0.52	0.65	0.63		
突発性発疹	岩手県	0.37	0.58	0.42	0.55	0.66	→	
	全国	0.8	0.75	0.76	0.84	0.79		
百日咳	岩手県	0	0.03	0.08	0	0	→	
	全国	0.01	0.02	0.02	0.02	0.02		
風疹	岩手県	0.03	0	0	0	0.03	→	
	全国	0.07	0.05	0.05	0.03	0.03		
ヘルパンギーナ	岩手県	0.47	0.47	0.61	0.76	0.95	↗	
	全国	0.98	1.31	1.66	2.38	2.34		
麻疹（成人麻疹を除く）	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.02	0.02	0.02	0.01	0.01		
流行性耳下腺炎	岩手県	0.21	0.53	0.66	0.5	0.82	→	
	全国	0.74	0.99	0.94	0.91	1.05		
急性出血性結膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.02	0.02	0.01	0.01	0.03		
流行性角結膜炎	岩手県	0.58	1.25	0.42	1.58	0.75	→	
	全国	0.91	0.99	0.91	0.99	0.92		
RSウイルス感染症（患者報告数）	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	29	21	31				
細菌性髄膜炎	岩手県	0.05	0	0	0	0	→	
	全国	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01		
無菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.03	0.05	0.05	0.04	0.04		
マイコプラズマ肺炎	岩手県	0.45	0.45	0.25	0.25	0.45	→	
	全国	0.27	0.26	0.3	0.31	0.22		
クラミジア肺炎（オウム病を除く）	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01		
成人麻疹	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0	0	0.01	0	0		

【流行傾向の見方】

- 無印 : ほとんど患者が発生していません
- : 患者が発生しています
- ↗ : 警報値を超えた地区が1～2地区あります
- ↘ : 多くの地区で警報値を超えています

全数把握対象疾患（過去5週の動き）									(患者発生数)	
分類	疾病名	岩手県					全国			
		(週) 22	23	24	25	26	累計	26	累計	
一類 感染症	エボラ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0	
	クリミア・コンゴ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0	
	ペスト	0	0	0	0	0	0	0	0	
	マールブルグ病	0	0	0	0	0	0	0	0	
	ラッサ熱	0	0	0	0	0	0	0	0	
二類 感染症	コレラ	0	0	0	0	1	1	7	21	
	細菌性赤痢	1	0	0	0	0	3	18	229	
	腸チフス	0	0	0	0	0	0	0	30	
	パラチフス	0	0	0	0	0	0	4	39	
	急性灰白髄炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
	ジフテリア	0	0	0	0	0	0	0	0	
三類	腸管出血性大腸菌感染症	0	1	0	0	2	5	115	857	
四類 感染症	アメーバ赤痢	0	0	0	0	0	0	8	283	
	エキノкокクス症	0	0	0	0	0	0	0	17	
	黄熱	0	0	0	0	0	0	0	0	
	オウム病	0	0	0	0	0	0	0	27	
	回帰熱	0	0	0	0	0	0	0	0	
	急性ウイルス性肝炎	0	0	0	0	0	0	3	146	
	Q熱	0	0	0	0	0	0	0	5	
	狂犬病	0	0	0	0	0	0	0	0	
	クリプトスポリジウム症	0	0	0	0	0	0	0	5	
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	0	0	1	2	78	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	37	
	後天性免疫不全症候群	0	0	0	0	0	0	7	487	
	コクシジオイデス症	0	0	0	0	0	0	0	1	
	ジアルジア症	0	0	0	0	0	2	1	35	
	腎症候性出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0	
	髄膜炎菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	1	16	
	先天性風疹症候群	0	0	0	0	0	0	0	5	
	炭疽	0	0	0	0	0	0	0	0	
	ツツガムシ病	0	0	0	0	0	0	2	91	
	デング熱	0	0	0	0	0	0	0	6	
	日本紅斑熱	0	0	0	0	0	0	1	13	
	日本脳炎	0	0	0	0	0	0	0	1	
	乳児ボツリヌス症	0	0	0	0	0	0	0	0	
	梅毒	0	0	0	0	0	0	4	238	
	破傷風	0	0	0	0	0	1	1	38	
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	0	0	0	4	27	
	ハンタウイルス肺症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	
	Bウイルス病	0	0	0	0	0	0	0	0	
	ブルセラ症	0	0	0	0	0	0	0	0	
	発疹チフス	0	0	0	0	0	0	0	0	
	マラリア	0	0	0	0	0	0	0	26	
ライム病	0	0	0	0	0	0	0	2		
レジオネラ症	0	0	0	0	1	1	2	62		
ウエストナイル熱	0	0	0	0	0	0	0	0		

昨年11月5日に感染症法が改正されたことに伴い、調査対象疾患が一部改正されましたが、本週報では当面の間、改正前の分類による情報をお届けしております。
できるだけ早い時期に、新しい分類による情報をお届けするよう準備していますので、ご了承ください。

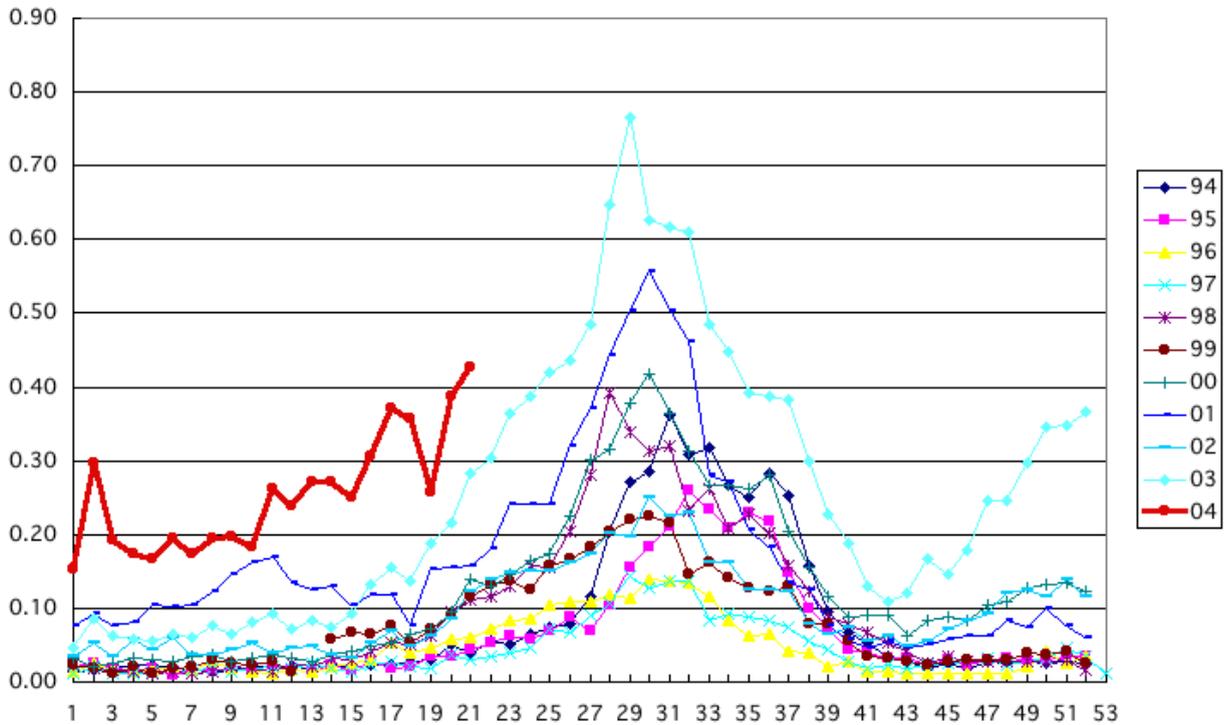
今注目の感染症

咽頭結膜熱

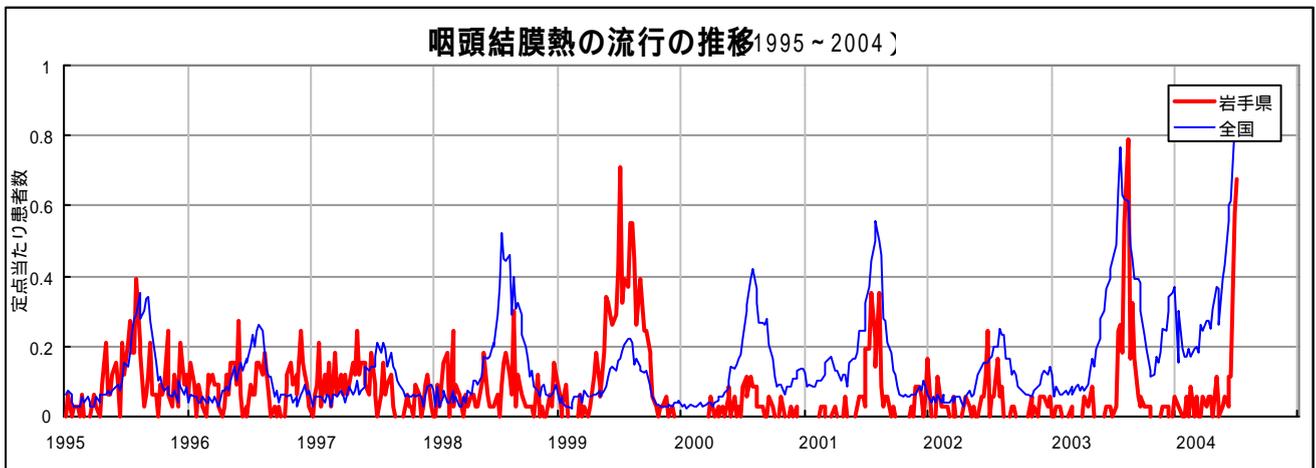
2004年の咽頭結膜熱の定点当たり報告数は、過去10年間でも最も多かった昨年と比較しても、さらに多い状態で推移している。本年の各週の定点当たり報告数は、過去10年間の当該週と比較して、第1週から継続して最大値となっている（図）。第22週に定点当たり報告数が多かった都道府県は、福井県（2.8）、宮崎県（2.1）で、福島県、富山県、石川県、岐阜県、奈良県、和歌山県、徳島県の各県でも1.0を超えている。

本疾患はアデノウイルスによる感染症で、発熱、咽頭炎、眼症状を主とする。プールでの感染もみられることからプール熱とも呼ばれる。夏季に流行する疾患であるが、2000年以降には、それ以前にはなかった冬季での増加傾向が見られ、特に昨年から本年にかけてその傾向が顕著であった。罹患年齢は従来から学童年齢が主とされるが、昨年の感染症発生動向調査によると1～5歳の各年齢がそれぞれ13～16%で、合わせて全体のほぼ4分の3を占めていた。本年第22週までの報告でもほぼ同様であるが、2歳以下の割合がやや増加している。

咽頭結膜熱の流行の推移（全国）



（以上、IDWR2004年第22週から抜粋）



病原体検出情報

- ・急性上気道炎の患者の咽頭拭い液からアデノウイルス3型を3例分離検出しました。
- ・急性上気道炎・胃腸炎の患者の便からアデノウイルス3型を1例分離検出しました。
- ・感染性胃腸炎の患者の便からノロウイルス遺伝子型IIを2例検出しました。
- ・感染性胃腸炎の患者の便からアデノウイルス1型を1例分離検出しました。

集団感染情報

この週には集団感染情報はありません。

医療機関からの情報

盛岡地区の医療機関（小児科）から

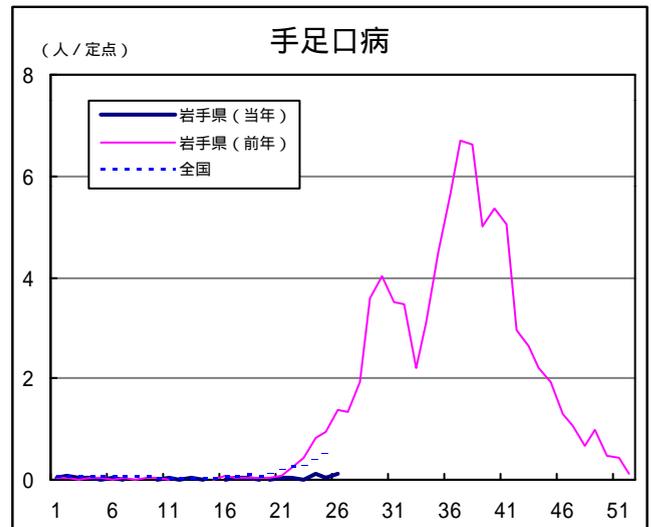
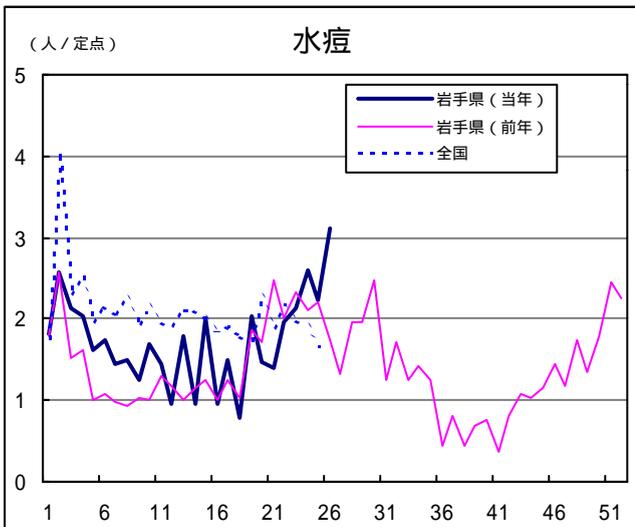
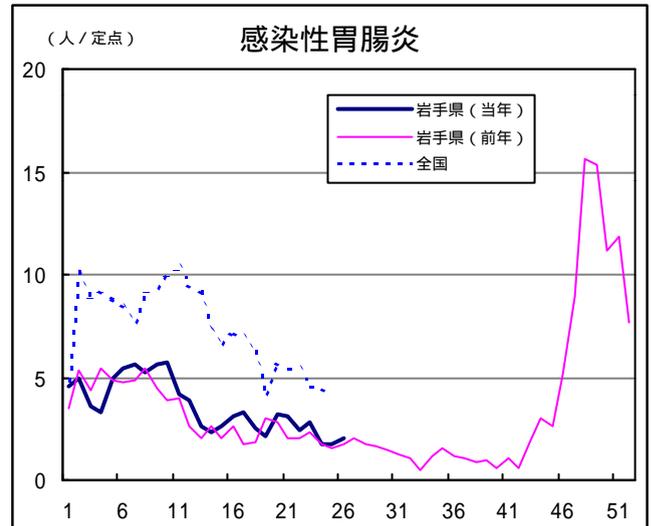
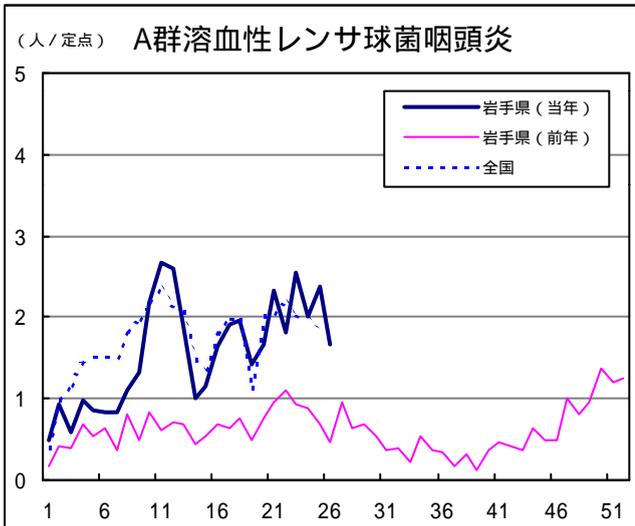
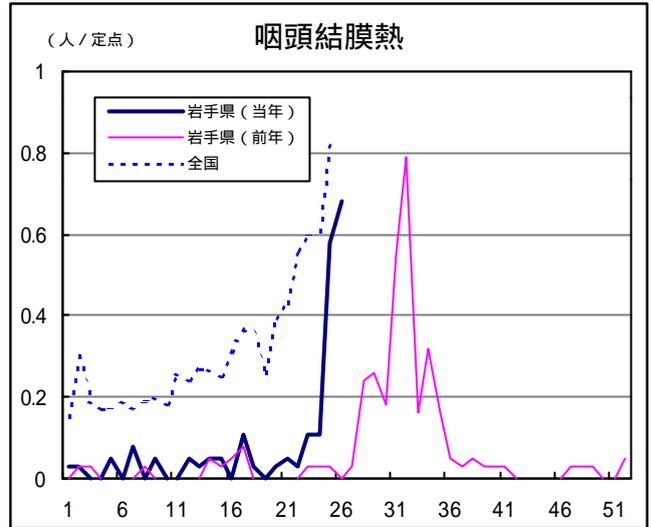
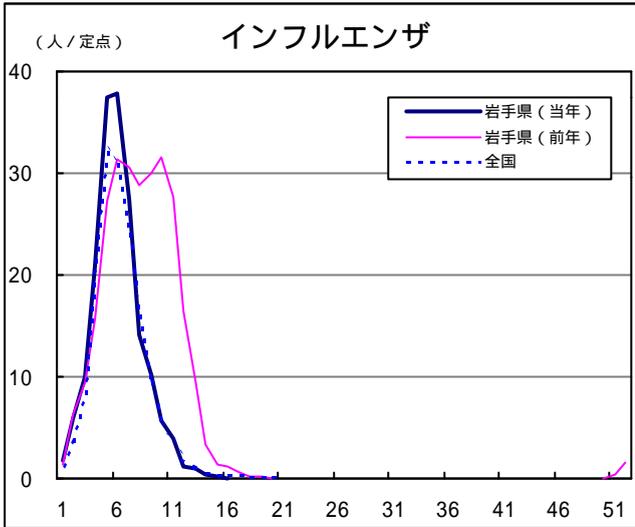
- ・アデノウイルスによる上気道炎がだいぶ流行しています。

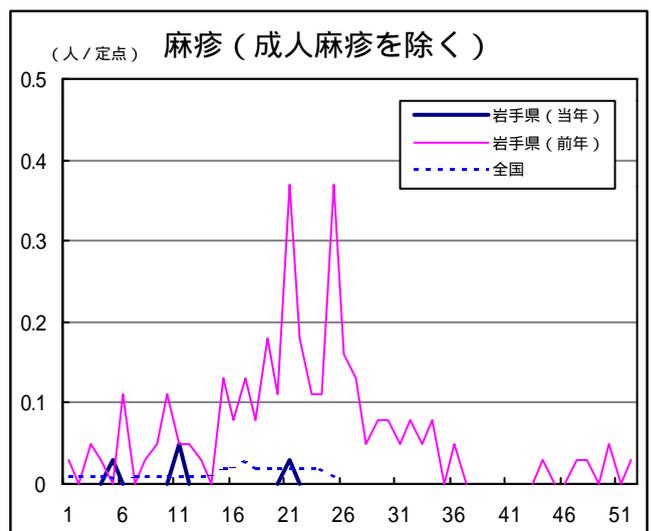
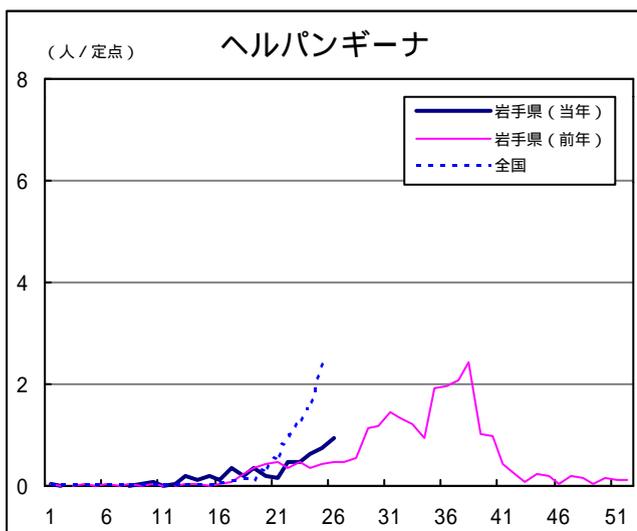
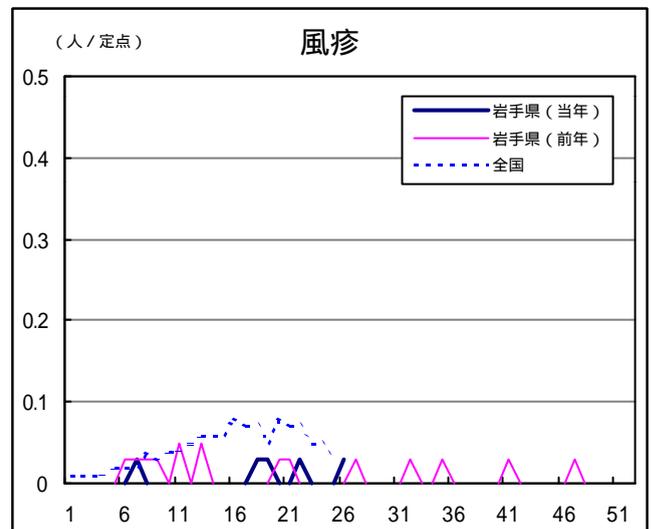
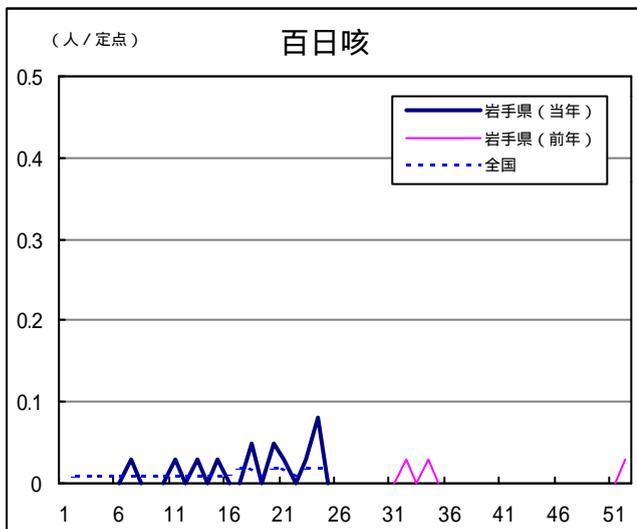
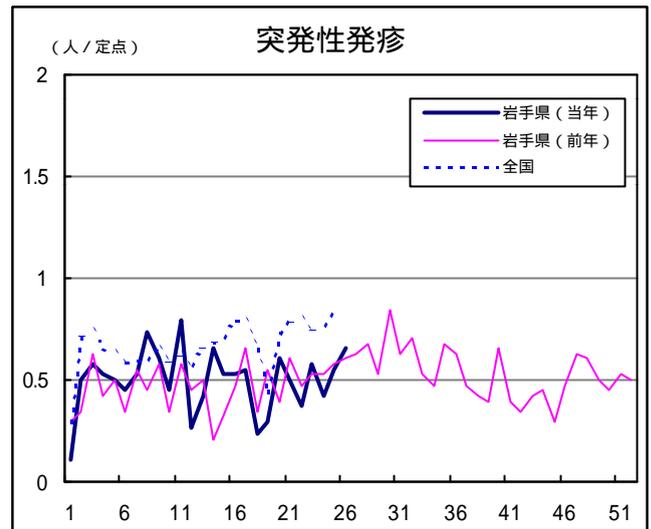
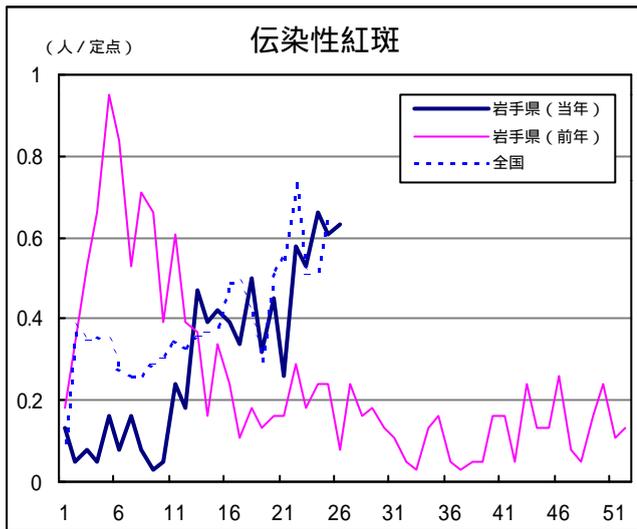
Q & A

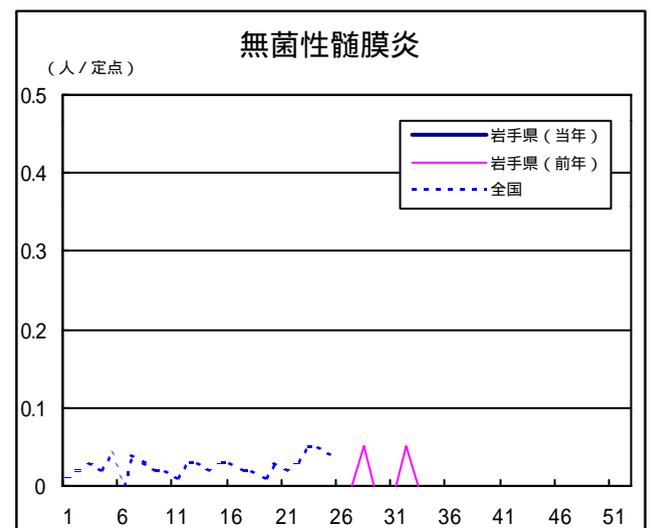
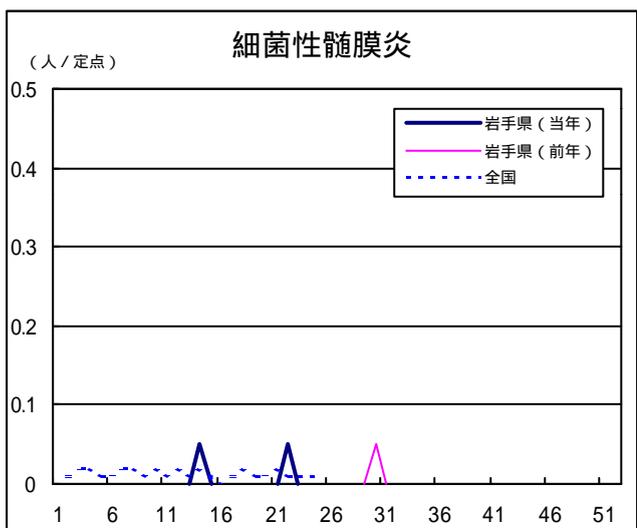
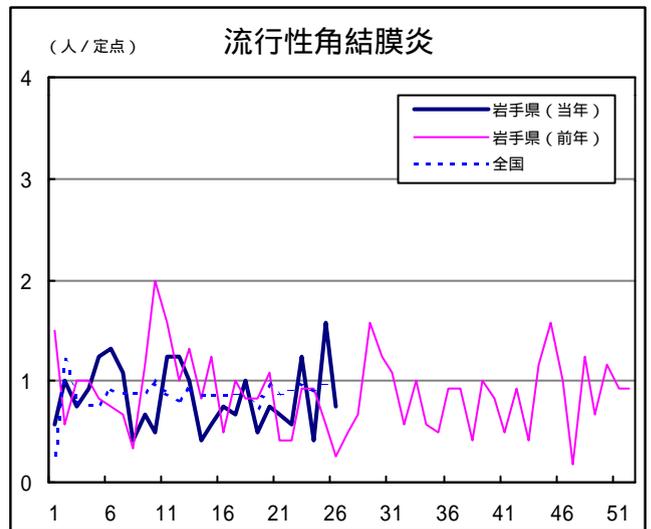
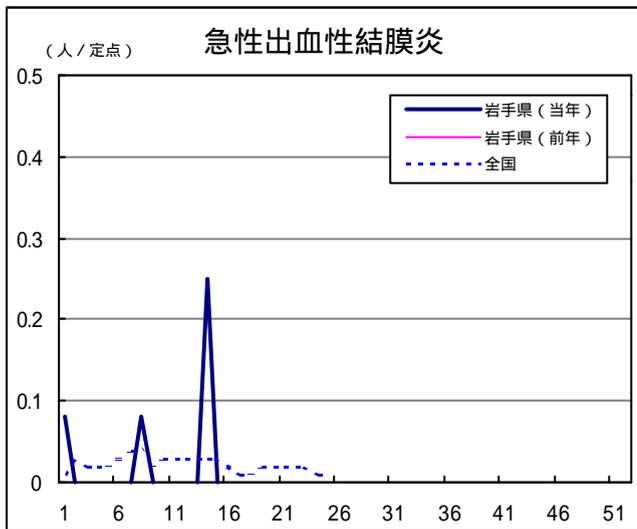
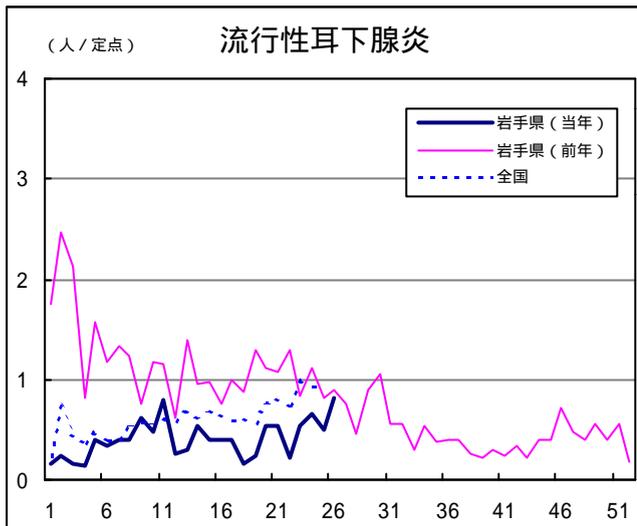
読者の皆様からのご質問にはこの欄でお答えします。

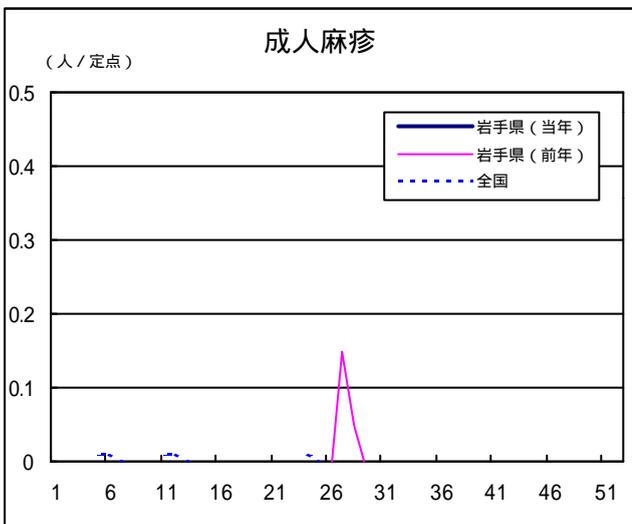
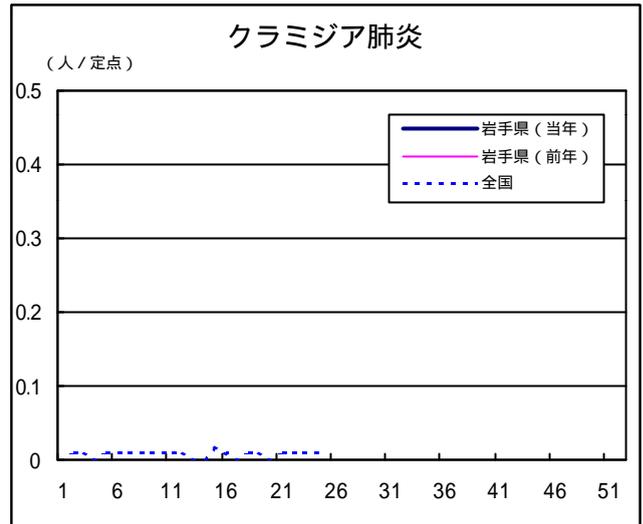
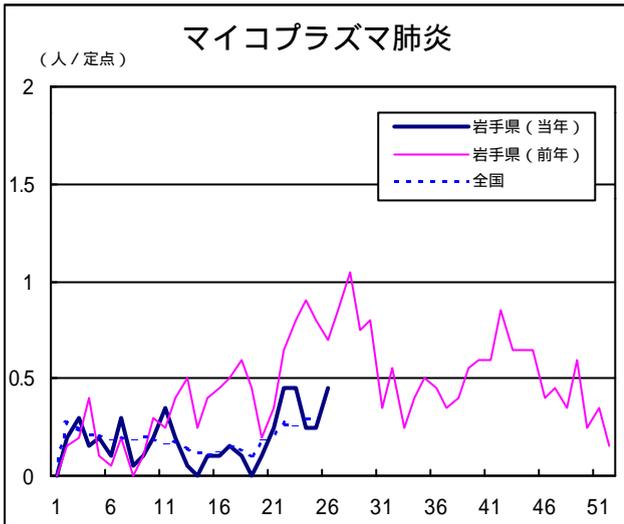
医療機関からの情報や読者の皆様からのご質問は下記の宛先までお寄せください。
岩手県結核・感染症情報センター（岩手県環境保健研究センター保健科学部内）
〒020-0852 岩手県盛岡市飯岡新田1-36-1
TEL:019-656-5669（直通） FAX:019-656-5667
E-mail : CC0019@pref.iwate.jp

疾病別グラフ（定点あたり患者数の推移）









定点医療機関の数

地区	インフルエンザ	小児科定点	眼科定点	基幹定点
岩手県	62	38	12	20
盛岡	17	11	3	5
花巻	5	3	1	2
北上	5	3	1	2
水沢	7	4	1	2
一関	7	4	1	2
大船渡	5	3	1	1
釜石	5	3	1	2
宮古	5	3	1	1
久慈	3	2	1	1
二戸	3	2	1	2

岩手の感染症情報を毎週メールでお届けする
「岩手県感染症情報ウィークリーマガジン」を配信しています。
 配信の登録は以下のURLからお願いします。
<http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/mailmagazine.html>

岩手県感染症週報 平成16年第26週 平成16年7月2日発行
 監修：岩手県結核・感染症発生動向調査委員会
 発行：岩手県環境保健研究センター
 岩手県保健福祉部保健衛生課
 事務局：岩手県結核・感染症情報センター
 （岩手県環境保健研究センター保健科学部内）
 〒020-0852 岩手県盛岡市飯岡新田1-36-1
 TEL:019-656-5669（直通） FAX:019-656-5667
 E-mail: CC0019@pref.iwate.jp
 URL: <http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/>
 <岩手県結核・感染症情報センター>
<http://www.pref.iwate.jp/~hp0360/>
 <岩手県保健福祉部保健衛生課>